

くらしによりそって 子どもに 希望ある未来を

工業高校を卒業して、地元の製薬会社の工場で7年働いた後、「しんぶん赤旗」の配達・集金などの仕事をしてきました。青年運動や共産党の活動を通して、社会の矛盾や未来への展望を学び、今の政治を変えていくことがどうしても必要との思いを強くしてきました。

今、子どもからお年寄りまで、すべての世代が暮らしにくい社会になっているのではないのでしょうか。政治を「住民が主人公」に切りかえ、誰もが安心して暮らせる社会を実現させるために力を尽くしていきます。



党金沢地区くらし・福祉相談室長

村田しげる

主な活動地域(小学校区) 十一屋(大桑・西大桑・法島除く)、長坂台、内川、泉野、泉、富樫、伏見台、扇台、額、四十万、久安4

プロフィール

●県立工業高校を卒業し、1981年辰巳化学入社●「しんぶん赤旗」金沢出張所長、日本共産党金沢地区委員を経て、2001年金沢地区常任委員●1963年生まれ●金沢市久安在住●趣味／バイクツーリング、スキー、映画鑑賞

金沢市議団 検索

あなたの願い 実現にがんばります

国民健康保険料の引き下げを!

2億円

●子どもの「均等割」を完全免除

財源は国保基金18億3千万円(ためこみ貯金)の一部を使います。
加賀市は子どもの「均等割」を半額免除しています。

54ある中核市で8番目に高い介護保険料の引き下げを!

基金11億5400万円を活用。

都市計画税率を軽減し、税額を半分に!

本市税率0.3%⇒野々市市0.15%なみに。

金沢市南部地域を 安心して住みやすいまちにしています

コミュニティバスの路線拡大をめざします

除雪は生活道路まで拡充します

子どもが楽しく遊べる場所づくりをすすめます

高すぎる水道料の引き下げにがんばります

財源はあります!

大型事業計画をすすめる市政からくらし、営業を守る市政に転換する。
自由に使える基金60億円(H29年度決算)を活用します。
金沢市は北信越の中核市一番の財政力くらし福祉最優先でいかします。

子育て支援3つの無料化へ

- 子どもの医療費18歳まで窓口無料に
- 給食費も含めて保育を無償化に
- 学校給食費の無料化



(私)も(応)援(し)ま(す)



小倉 恵美さん

安倍政治で、私たち金沢市民の生活も大変になっています。それなのに、金沢市政は市民を守るどころか、家庭ごみ有料化など市民に負担を押しつけています。村田さんの掲げる「安心して住みやすいまち」をぜひ実現させましょう。村田さんの活躍に期待しています。

4名の 議員団の実現へ

議案提案権を使って、
建設的に提案します

発言力
ぐんぐんと
アップ!



森尾 よしあき
(現・八期)



広田 みよ
(現・二期)



おおくわ 初枝
(現・一期)

日本共産党

金沢民報

2019年3・4月号外 発行:日本共産党金沢地区委員会
〒921-8022 金沢市中村町9-10 TEL/076-243-3400 FAX/243-3527
日本共産党金沢地区委員会の政策と見解を紹介します。

4月21日
市議選

ウソとゴマカシの安倍政治を終わらせよう
消費税10%中止、9条改憲ノー